

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 26 日作成)

小委員会名	地盤震動小委員会	主 査 名：加藤研一 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会	委員長名：中島正愛 主 査 名：福和伸夫
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震防災および建築構造物の耐震安全性に係わる地盤震動の諸問題について最新動向を整理し、その成果を次世代の耐震設計に生かすことを目的とする</li> <li>・毎年シンポジウムおよび地域交流会を開催して最新動向を学会員に周知するとともに、地盤震動研究の方向付けを行う</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：加藤研一 (鹿島) 幹事：山中浩明 (東工大), 野畑有秀 (大林組) 委員：岩田知孝 (京大), 釜江克宏 (京大), 上林宏敏 (京大), 藤本一雄 (千葉科学大), 小山 信 (建築研究所), 高井伸雄 (北海道大), 青井 真 (防災科研), 大野 晋 (東北大), 神野達夫 (広島大), 飛田潤 (名大), 境有紀 (筑波大), 松島信一 (京大)	
設置 WG (WG 名：目的)	シンポジウム企画WG : 地盤震動シンポジウムの企画・立案 地震動作成手法の検証と適用WG : 刊行物の企画・調整・編集	
2010 年度予算	630,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s4/index.htm">http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s4/index.htm</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 38 回地盤震動シンポジウム「短周期地震動の発生要因はどこまで解明されたか - 広帯域の入力地震動予測に向けて」 参加者数 156 名 『同名資料』 2. 第 30 回地盤震動地域交流会 (2010 富山) 参加者数 78 名
大会研究集会	1. PD：兵庫県南部地震から 15 年 - 建物への入力地震動はどこまで解明されたか (基礎構造系振動小委員会と共同) 参加者数 360 名 『構造部門 (振動) パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 例年どおりシンポジウムと地域交流会を開催し、いずれも盛況であった 2. 基礎構造系振動小委員会と共催で構造 PD を開催し、震源から構造物の入りに到る広範囲な最新動向の知見と課題を学会員と共有できた 3. 委員を中心として実施した「強震動予測手法のベンチマークテスト」の成果が建築学会技術報告集に 3 編掲載されるなど、活発な活動ができた
委員会活動の問題点・課題	1. 開催した PD、シンポジウム、地域交流会への関心は高く、問題点はない 2. これまでと同様に「予測強震動」と「設計用地震動」を繋ぐ議論が必要 3. 企画中の刊行物の内容について、地震荷重小委員会と密な連絡が必要